

い し ず え

全損保日動外勤支部 東日本合同職場会ニュース 08 - 5

2007年9月25日 (発行) 首都分会組対部

9.21 東京地評争議支援総行動・金融3争議共同行動、報告

9月21日午前8:00、東京海上日動火災本社前に首都圏の組合員が集合し「金融3争議共同行動」が始まりました。本社の社員は、ピラをなかなか受取ってくれませんが、中にはピラを大切にカバンに入れて持って行く社員や「がんばって」と応援してくれる社員もいます。一般通行人や丸の内に勤める方々のピラ受取は良く、東京海上日動火災の労働争議に関心の高さを感じました。

その後、AIGスター生命、日産センチュリー証券社前抗議行動を行いました。「金融3争議」は、裁判所、労働委員会では、いずれも勝利判決、命令が出されていますが、経営がそれに従おうとしないと言う困った共通点があります。その事実を世間に知らしめ社会的に正さなければなりません。

当日は「9.21 東京地評争議支援総行動」でもあり、昼休みには他の争議団と共に、東京地方裁判所前宣伝行動が行われました。裁判所前の歩道は200名以上の参加で、のぼりや組合旗でいっぱいになり、裁判所に公正な判決が下される様、各々の労組が訴えを行いました。

午後は、丸の内のユナイテッドオーバーシーズ銀行前行動から始まり、再び東京海上日動火災本社前に、私たちを支援してくれる他労組組合員と共に集まり、連帯の挨拶や経営に対する抗議を行い、元気にシュプレヒコールでしめました。その後、経営に対する要請文を手渡しましたが、相変わらずガードマンでバリケードを張り、要請団を一步たりとも本社敷地内に入れようとする横暴な経営の態度に、他労組組合員から「こんなにひどい経営は初めて見た」と驚きの声が上がっていました。また、本社前を通る外国人観光客も、何事が起きているのかと、足を止めてしばらく眺めていました。

行動の最後は、みずほ銀行本店前に集結して、すべての争議の早期解決に向け、「団結ガンバロウ」で「9.21 東京地評争議支援総行動」を終えました。

当日は、30以上の厳しい残暑の中でしたが、組合員全員が元気良く行動し、他労組とも連帯して東京海上日動火災経営を社会的に包囲する行動が出来ました。行動参加の皆さんお疲れ様でした。私たちの「仕事と生活を守る」為に、これからも団結してがんばりましょう。

以上